

そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。3月定例会では、4日、5日、6日の3日間、17名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。



**安心安全で
暮らしやすい街づくり**
萩原 義典 (志政会)

今回の主なテーマ

- ▶防犯灯などの照度調査
- ▶大学と自治会の協働調査
- ▶特別警報発令時の対応

◆防犯灯などの照度

①暗い道路の改善をどう考えているのか。
②新狭山地区連合自治会でいった、大学との協働による照度調査の結果、改善が必要な箇所があるが、改善への市の考えは。
③大学との連携をどう考えるか。
市民部長 ①自治会からの要望を踏まえ、防犯灯を効果的に設置していく。新狭山地区は住宅地域や商店街、工業団地など地域の特性もあり、それぞれの役割分担の中で対応することも必要と考える。
②防犯灯は夜間の歩行者にとって危険回避につながり、また、犯罪抑止を促すなど必要不可欠なものである。今後も適正な照度を確保し、光害にも配慮しながら対応していく。

市長 ③大学との連携で自治会を対象にして、大学と自治会、住民、商店、会社などの総合的な連絡の中で行ったことは、今までにない点に着眼していて素晴らしく、協働が実践されていると感じた。これを一つの模範として、全て市で解決するのではなく、協働で解決する方向に向かって協力していきたい。



明るい防犯灯の設置を



**高齢者の暮らしを
支える交通網を**
大沢 えみ子 (日本共産党)

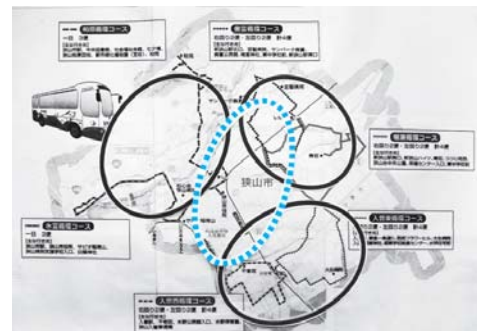
今回の主なテーマ

- ▶デマンドバス導入の検討
- ▶茶の花号をもっと利用しやすく
- ▶指定管理者制度の方針見直し

◆デマンドバス導入の検討

高齢化が進む中、複数で乗り合わせて目的地まで行けるデマンドバス(乗合タクシー)の導入を検討してほしいが市の考えは。
市長 循環バスのルート見直しのときに、タクシー業者と協議したが、導入は困難であった。近年はまちづくり協議会の中で、移動手段を確保するという動きが出てきているので、そうしたものにも期待していきたい。

の協議は。
市民部長 ①各駅を結ぶ新規路線設定などには、バスの増車が必要となり、費用対効果や財政面などから実現は難しい。
②バス事業者への費用負担などの問題もあり、現在では難しい。



茶の花号
駅を結ぶ新たなルート

◆茶の花号をもっと利用しやすく

①入曽・狭山市・新狭山駅を結び、市役所や福祉施設を回るルートを新設してほしいが、考えは。
②70歳以上に発行される特別乗車証は、西武バスでも利用できるようにしてほしいが、西武と



安全な学校給食の提供体制
内藤 光雄 (新政みらい)

今回の主なテーマ

- ▶毒物や異物の混入防止対策
- ▶食品納入業者の安全性
- ▶省エネ化で経費の削減

◆安全なおいしい給食で子どもたちの健全育成を

毒物や異物の混入防止策は。
学校教育部長 毒物混入の防止対策は、食品や食材の受け入れ時、洗浄や調理過程、味付けの時に、栄養士や調理員が目視や匂いでチェックし、さらに、各学校への配送前に検食を行うなど、児



安全なおいしい給食を

童生徒の口に入る前に何重ものチェックを行っている。異物混入の防止対策は、調理器具の使用前後の点検を行い、網戸やエアカーテンを設置して虫などの侵入を防いでいる。

◆省エネの推進で温室効果ガスや経費の削減を

省エネルギー化の取り組み状況は。
環境経済部長 市の施設では、狭山市地球温暖化対策実行計画に基づき、不要な照明の消灯や、冷暖房温度を夏は28度、冬は20度を目安に温度管理をするなど、事務スペース内の省エネ化を進めている。施設内の設置機器は、器具などの修繕交換時にLED照明などへの転換や、消費電力の少ない省エネルギー型機器に交換するなどの取り組みを行っている。



**特別支援学級の生徒も
大切な狭山の子どもたち**
金子 広和 (新しき)

今回の主なテーマ

- ▶市長交代時の政策の見直し
- ▶中央中に特別支援学級設置を
- ▶入間川中の小規模解消の時期

◆学校も教室も、全ての生徒に平等

市は「中央中に特別支援学級を設置することは、統廃合当初に在籍する生徒の状況をあらかじめ把握し判断する」と示しているが、仮に東中が廃校になった場合、中央中に特別支援学級を設置してほしいといった意見や要望は、どの程度出されているのか。
学校教育部長 現



在は出されていないが、保護者から意見や要望があった場合には、総合的に検討し特別支援学級設置の可否を判断する。

◆市長公約と整合を欠く事務事業の場合は

基本構想は、長期的な市の将来像であるため、市長の選挙公約との整合を欠いていても、すぐに見直しはできないと考えられるが、毎年度見直しを図るとされる事務事業(実施計画)に対しては、見直しを行うのか。
総合政策部長 実施計画は、財政収支見込みとの整合を図りながら毎年の見直しを行っている。計画の事務事業と公約との整合を欠いた場合にも、必要性や重要性、実現性、財源や財政状況などを考慮した見直しを行うこととなる。

ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧にならない方には、FAXまたは郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。

04-2953-1111 内線3313